

- きじはこえにだしてよんでみよう。
- ないようについて、だれかとはなしてみよう。

きぶん ほんや 気分は「本屋さん」 福島・こども古本市



小学生が書店の仕事を体験した
西沢書店のこども古本市

子どもたちが書店の仕事を体験するイベント「こども古本市」が3日、福島市大町の西沢書店で開かれ、小学生が「本屋さん」になり切って販売や陳列作業などを楽しんだ。書店の仕事を通し、本の魅力や働くことの意義を知ってもらおうと開かれ、同市の小学生が参加した。参加者は自宅から持ち寄った古書や文房具、手作り雑誌などを同店2階の特設売り場で販売。本の紹介文などを書いた「ポップ」も作って設置し、来店者に商品をアピールした。

「本物」の書店スペースでの店員体験も行われ、参加者が夏休みの課題図書を見やすく陳列棚に並べてヒマワリなどの造花で飾り付けたり、文庫本にカバーをかける練習をしたりした。読み終えた児童書などを販売した谷田いろはさん（森合小2年）は「とっても楽しかった。また参加したいです」と、書店の仕事を満喫した様子で感想を話した。

▲ 8月4日 福島民友新聞掲載

きじをよんでおもったこと、みんなとはなして
かんじたことをかこう。(120字くらい)

あなたなら、何の本を持ち寄り、
どんな「ポップ」をつくりますか？

